



週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1091 回(6 月 28 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 S A A 沼崎君 小幡君

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35名	31名	88.24%	84.44%

会長の時間

江原会長



いよいよ私のお話しする「会長の時間」は今回が最後となります。閉会点鐘を鳴らし終えるその時まで緊張の糸から解き放たれることはないと思いますが、皆様どうかよろしくお願いいたします。

夜間例会・合同例会等を含め 45 回目となる今日は、ロータリーの友の毎月号にも記載されておりますし、例会前にも歌われている『四つのテスト』についてお話ししたいと思います。

「現行はこれに照らしてから行うべし」と記されております文言そのものへの理解もできているつもりであり、日々を過ごしていく中でも照らし合わせているつもりではおりますが、自分自身の余裕のなさが影響しているのか逆行していることも多々あり、なかなか難しいものだなあと感じていました。そこで、ハーバート J テーラーが創案者であるというこの『四つのテスト』について、資料

等を色々と読んでみました。

ロータリーの友 2000 年 1 月号に掲載され、2003 年 10 月号に再掲載された『四つのテスト』その由来をひもとく」という文章に詳細が記されていますし、「ロータリー情報マニュアル」には、日本語訳の経緯・参考文献・四つのテスト解説・四つのテスト解釈なども記されております。これらをすべてお話しするには時間が足りませんので、他にもいくつか調べた資料の中から引用した内容を述べさせていただきます。

ロータリーの綱領、職業宣言、四大奉仕の定義がロータリーの奉仕の理念とその実践を示すものであるのに対し、『四つのテスト』は日常の商取引・産業活動におけるロータリアンの言行の自己評価のためのテスト形式の基準として導入されたものであります。ただ、新入会員にロータリーを最初に説明するときに『四つのテスト』がよく使われるように、このテストの邦訳には、ロータリー精神が、ロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるような形で、簡潔かつ的確にまとめられています。ロータリークラブあるいはロータリアンが理念の実践を通して社会に対する真実のともしびとなる時の重要な基準となるといっても過言ではないでしょう。

※『四つのテスト』の英語の原文がありますが、それぞれ直訳ではなく邦訳に変えているようです。

1. 「真実かどうか」

真実とは嘘偽りのない本当のことというよう

に単純に考えるのではなく、もう少し深く考えて、「物事の原理・原則、根本原理に合っているかどうか」と理解するのが良いと思われま

2. 「みんなに公平か」

英語では人々に対して、その場の状況に応じて、私的感情をあまり交えずに、へだたりなく対処することを意味しますので、「みんなに公平か」よりは、「みんなに公正か（みんなに公正に対処しているか）」の方が原文の意味と適切に伝えていると思われま

※ロータリアンの職業宣言の第4項に、文章とよく似た文章があるそうです。

同じ英語がこの文章の中では公平ではなく公正と訳されているそうです。

真実は、時として信念の要素を含むことがあります。それが相手を困らせることがないような配慮も要するという事を、言外ににじませていると言えないこともありません。四つのテストは商取引に関連して作られたものであり、英語の原文では取引先のことであるが、ロータリーの会員にはその職業が商取引には直接関係しない人達がかかりいることや、四つのテストが商取引以外の場でも使われる可能性が高いことを考慮すれば、ロータリアンの日常生活のすべての言行に適用できる邦訳の方が適切とも考えられます。

3. 「好意と友情を深めるか」

原文のここでの問いかけは、「自分の考え意見、行いが他との行為・友情を一層密にするか」という事であり、他の人々と付き合うときの、ごく自然で基本的な対処の仕方があります。ここではある程度の私的な感情が混ざるのはやむを得ませんが、大事なことは、それが他を排除するものであってはならないという事です。

4. 「みんなのためになるかどうか」

これも、原文を四つのテストを商取引のみに関連するものと考えれば、「利益をもたらす」という形容詞になりますが、もっと広い意味に考えて、「役に立つ」と訳した方が良いと思われるため、「みんなのためになるかどうか」という邦訳でよいことになるそう

です。道徳的な基準は、自分が何かを行うとき他への態度の規範であります。それは当然、相手もそれに反応しやすく、何かを行いたいやすいための配慮を含んでいなければなりません。これが「みんなのためになるかどうか」と考えられます。「好意と友情を深めるか」の判断で私的な感情が強くなり過ぎないように戒めているという解釈もできます。

ざっと、引用させていただいた原文を訳した資料から『四つのテスト』についてお話ししましたが、いずれにしても、ロータリアンの言行は「この四つの問いのすべてに『イエス』と答えられるものでなければならない」という事を忘れないようにしていきたいですね。ありがとうございました。

幹事報告

小島幹事

1. 第 2570 地区より、国際ロータリー細則第 13 条による公表 2017~2018 年度ガバナー候補者について、細井保雄様（行田さくら RC）。
 2. 第 3 グループ吉田ガバナー補佐より、2015~2016 年度 IM 決算報告について
 3. 新狭山 RC より、「ぼくは写真で世界とつながる」ドキュメント映画上映会の後援・協賛事業実績報告書について。
 4. 第一回第 3 グループ会長・幹事会のご案内
 5. (公財) 埼玉県腎・アイバンク協会より、感謝状
 6. 狭山グリーンライオンズクラブより、6 月 30 日をもって解散のお知らせについて。
 7. 「第 3 回青少年を育てる狭山市民会議 理事会」開催のご案内について。
 8. 受贈会報 新狭山 RC 入間南 RC 所沢中央 RC 所沢西 RC
 9. 回覧物 学友会ニュース (第 196 号) AAR Japan 2016 募金のご願い NPO 法人 かものはしプロジェクト 2015 年度 年次報告書
- ※ 6/14 現・次年度合同定例理事会が開催され 次の件が審議・承認されました。

- (1) 7. 8月プログラム承認
- (2) 8/6・7入間川七夕まつり参加について
- (3) コピー機入れ替えについて
- (4) マイロータリーについて

委員会報告

R 情報・雑誌

宮野委員長

「ロータリーの友 6月号」

皆さんこんにちは。このロータリーの友も皆さんにご協力して頂きながら、ようやく最後を迎えました。今まであまり読んでいなかったのですが、今年1年は良く読んだなと思っております。

記事のご紹介をさせて頂きたいと思っております。

『縦書』…17頁「母国の未来を担う 米山学友を支援」という、成田の平山さんが書かれた記事が載っております。先日江原会長がモンゴルに行ってきて、お話を頂いたのと全く同じことが書かれており、これは凄いなと思って読ませて頂きました。本当にこの間江原会長がご説明したのと全く同じですので、内容は読んで頂ければ良いと思うのですが、私は米山の委員をしておりまして、いつも気になることが一つあります。

今年度当クラブでホロワさんを奨学生として面倒させて頂いておりますが、彼女も中国籍でありながら内モンゴルの方です。そして中国籍でありながら、いわゆる自治区、チベット自治区、ウイグル自治区とありますが、面接の時にはその学生さんをなるべく多く採るようにしています。その学生さん達は決して自分達のことを中国人とは言いません。ホロワさんも東さんに「モンゴル人です」とおっしゃっていましたが、「私はチベット人です」「私はウイグル人です」とおっしゃっており、自分のことを中国人と言わないことがいつも気になっております。なかなか何故言わないのかと聞けない自分も勇気がないと思っているのですが、彼らはきっとどこか心の中で、民族として思うものがあるのだと思います。

『横書』…16頁、3年に1回行われる規定審議会のレポートがございます。皆さんご存知だと思うのですが、私が認識していなかったものがたくさ

ん書かれており、規定審議会でこれが決まったならば良かったと思うこともたくさん書かれておりましたので、掻い摘んでお話をさせて頂きます。

写真をみますと 2570 地区からは立原パストガバナーが規定審議委員として出席なさったようです。3年前は加藤パストガバナーが出席され、本当に大変だったという話を聞いた記憶がございます。まず1つは、私はちょうど16年目になりますが、私たちがロータリーに入る時には職業分類が必ずありまして、そこの中の職業分類のどれかに該当しないと入れませんでした。しかし今はその職業がなくても入れるとなっております、では誰でも入れるのかと思いましたが、それにかなり批判が出たのでしょうか、p.17の下の方に「会員は、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上および地域社会でよい評判を受けており、地域社会および世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする」と書いてあり、職業がなくても社会的に良い評判を持っていれば入れると明記したようです。

またその次、17頁の上の方に、「クラブは少なくとも月2回の例会を開くものとする」と書かれております。

17頁下の方に書かれておりますが、パソコンを通じて例会をする E クラブというものがあり、E クラブの人たちはこれまで集まることはなかったのですが、例会に関しての大きな変更の一つは「制定案 16-30 直接あるいはオンラインの両方による例会出席を認めるよう、出席規定を改正する件」と「制定案 16-82 従来型のクラブの区別をなくす件」が採択された事です。これまで、従来型のクラブではインターネット上で例会をすることはできませんでした。一方、E クラブでは顔を合わせた従来型の例会を開くことはできませんでした。これが、いずれの場合も認められ、したがって従来型クラブと E クラブを区別するのをやめる、というのが、これらの立法案です。例えば、最終週だけインターネット上で例会を開くとか、最終週だけ顔を合わせた例会を開く、ということが可能になったということです。

18頁、これまで例会と国民の祝日が重なったときには休みにしても良いとなっていたのですが、

今回からは、その日にちが祝日と重なっていても、その週に祝日がある時は例会を休会にしても良いとなりました。日本は月曜日の祝日が非常に多く、月曜日に例会をしているクラブ、例えば新狭山の方に会うと「また例会が休みで、決まることが決められなくて困る」ともおっしゃっていましたが、しかしこれを読みますと、例えば月曜日に祝日がある時は、当クラブは火曜日ですが、例会を休会にできるという規定ができたそうです。私は来年エレクトなので、少し例会の数が減らせるかなと、これを見て助かったと思っておりました。

また財政面の件で、これまで7月の始めに各クラブの人数に合わせてロータリーの本部に人頭分担金を送っておりました。確か1ドルずつの値上げをすると連絡がきておりましたが、それでは追いつかないということで4ドルずつ値上げすることです。これはクラブにとって、財政的に非常に厳しくなってきましたので、会計の面でも色々と考えなければならぬのかなと思っておりました。また会員は、今まで入会をする時に、金額はまちまちですが入会金をお支払したと思っております。ちなみに私が入ったときは入会金が8万円、それ以外に通常の会費がありましたので、結構な金額でしたが、今回の規定では入会金を廃止するとなりました。入会金もなくなりますので、財政面では色々工夫をしていかなければ難しくなるのではないかと、この規定審議会のレポートを読んで思いました。

加藤さんが言うには、規定審議会とは非常に長く、色々な審議をするそうなのですが、大きく変わって、私たちに大きく関係するのはこれくらいかと思っております。



・・・クラブ協議会・・・

《退任のご挨拶》

江原会長

昨年7月7日に、初めて会長としてこの場に立った時には、本当に緊張して手足が小刻みに震え、手のひらがうっすらと汗ばんでいたことをよく覚えて



います。先ほどこの場所に立ってお話をさせて頂いた時にも、その当時まではいきませんでした。ここ半年くらい前から多少なりとも心の中で余裕があったものが、やはり先ほどは相当に緊張して皆様の前でお話をさせて頂きました。

今は多少落ち着いておりますが、この1年間本当に皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。各役員、各委員長を始め、会員の皆様そして事務局のお二人には、私非常に不器用でしたので、その私を事ある毎に支えて頂き、重ねて御礼を申し上げたいと思っております。そして特に催し物が行われる際に、本当に多くのご家族の方にご出席を賜りましたこと、ご自宅に帰られたら是非とも私の代わりに御礼をお伝えして頂ければ有り難いと思っております。

私が会長就任の所感と方針を出した時に、「友情と相互信頼の絆」というものを今まで以上に深められるように、そして出来得ることであれば地域の方々にもこの絆をつなげて仲間を増やしていきたい、このようなお話をさせて頂きました。まずクラブ奉仕については、最初は純増5名を目指してお話しておりましたが、私の至らない所が数多くございまして、結果的に当初36名で走った人数が35名と1名減ってしまいました。それが非常に残念に思っております。但し会員相互の信頼は非常にスムーズに進んで行ったのではないかと考えております。次年度以降、皆様と協力し合ひまして、稲見増強委員長の元、一人でも多くの方に声をかけていきたいと思っております。

全員参加型の運営ということにつきましては、皆様のご協力のおかげで、私個人と致しましては満足のいくものであったと思っております。

公共イメージとして、ケーブルテレビ等を使ってもう少しロータリークラブの存在を訴えていくというお話を致しましたが、これにつきましては残念ながら叶わなかったと思っております。

職業奉仕につきましては、職業を営むことが…という所から各企業の代表者の方や会員の方に卓話をお願いするといった目標を立てましたが、これにつきましてはお蔭様で滞ることなく、特にプログラムの松浦委員長を中心に、多くの企業人の方に卓話に来て頂いたり、また企業訪問をしたりと、プログラムを組んで頂きました。それぞれ他の委員長にももちろん協力を仰いでいたと解釈しておりますが、その予定を組むのにも色々大変なことがあったのではなかろうかと思っております。

社会奉仕と致しましては、例年行ってまいりました尚寿会でのフリーマーケットが雨のために中止となりましたけれども、青少年奉仕の時にその分社会に貢献していると思っております。今年は雨が降らないことを祈って、今年度分のものを次年度にプラスしていければと思っております。また先ほどアイバンクについての協力ということで表彰状を頂きましたが、これにつきましては会員の多くの方に賛同して頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

青少年奉仕につきましては、地元の若い人ということで、狭山リトルシニア野球チームに、皆様から拠出して頂いたものに多少のプラスをして組んだ仕事について、本部の協力も仰ぎ、また柴田パスト会長にも大分協力を頂きまして、滞りなく進めることができました。

ロータリー財団への寄付や米山記念奨学部門につきましては、寄付金等色々皆様に協力を仰ぎながら滞りなく済んだと思っております。

先ほど宮野会員からロータリーの色々な部分が変わったというお話がありましたが、次年度以降も是非とも会長等が目標として挙げたものについては、私個人もそうですが、皆様に協力していけたらと思っております。

本当に一年間、色々とお世話になりました。ありがとうございました。

佐藤エレクト

1年間、エレクトという立場で会長の横におり、ずっと見ていました。1年間勉強をさせて頂きましたが、なかなかまだ分っておりません。



江原会長、1年間本当にご苦労様でした。素晴らしい会長職であったと思っております。私も非常に勉強になりました。

研修会や地区で色々勉強をさせられておりまして、色々なことで今生懸命考えております。それはまた次回のクラブ協議会から始まっていきますので、その時に述べていきたいと思っております。

本当にご苦労様でした。

浜野副会長

江原会長、1年間大変お疲れ様でした。私は仕事と言いましてもお客様紹介のみをさせて頂いた状況でございまして、出席を必ずしようということだけをやって参りました。



1年間近くで、幹事さんや会長エレクトさん、皆さんのお仕事を見させて頂いて、本当に一生懸命されていたのに頭が下がりました。私も、これからもまた協力してやっていきたいと思っております。

どうもありがとうございました。

小島幹事

いよいよ今日が最後の例会となりました。長いようで短かったと良く聞きますが、本当に長いようであつと言う間に過ぎてしまったなというのが今の実感でございます。



江原会長の方針である、友情と相互信頼の絆をさらに深め、一人一人がより深く充実した例会ライフを過ごせるようにという思いで、1年間一生懸命会長の後をついてまいりました。

例年通り、親睦旅行や日帰り旅行、夜間例会等々、先程会長も仰っていましたが、たくさんのご家族の方にご協力頂いて、滞りなく楽しく過ごさせて頂いたことを深く感謝申し上げます。

モンゴルの干ばつ防止プロジェクト最終年ということで、2度目のモンゴル訪問もしてまいりましたが、私にとってはとても、恐らく個人的には行かないであろう異国の地でしたので、心に深く刻まれたと思っております。

至らぬ点も多々あって、ご迷惑をお掛けしたり、歯がゆい思いをなさった方もいらっしゃるかもしれませんが、会員の皆様の温かいご支援とご協力の下、今日の日を迎えられたこと、本当に心から感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

益子 S.A.A

1年間で一番嫌だった思い出は、毎週板書をしなければいけないということです。私字が汚いもので、最初はプロジェクターで映そうかと思っていたくらいで、実際プロジェクターでも打てるように毎週原稿を書いて、このレイアウトを黒板に写すということで、少し楽な気持ちになるようになりました。

こちらから1年間会場を見させて頂いて、座る席が大体皆さん決まってしまうということを感じました。会長のテーマに沿っていくのであれば、私の方から席順を変える等といった協力をすれば良かったのかなと思っております。また私の席、SAAという席が一番左側にあるかと思うのですが、実はお弁当を食べている10分間しかその席は使っておりません。少し勿体ないので、来年度はその使い方も考えてみようかなと思っております。

何とか1年間終わらせることができたのは、会長を始め、会員の皆様のおかげだと思っております。1年間本当にありがとうございました。



栗原(成)公共イメージ委員長

江原会長、小島幹事には、1年間お疲れ様でしたと申し上げます。

残念なことに、私も会員増強のために一肌脱いで、公共イメージをアップし、ロータリーをもっともっと市民に伝えたいということが本来の仕事であったのですが、言い訳を致しますと、ケーブルテレビの在原さんが急にケーブルテレビを退職致しまして、彼は今貿易商になっております。

その後の話は詳しく聞いておりませんが、手蔓がなくなってしまい、ケーブルテレビとの交渉力が今のところなく、一度清水社長とお会いして、今後の対応を図らなければいけないと感じているところです。

もう一つアピールできなかったことは、大生病院に於けるフリーマーケットが中止になったということ、あそこでは我々が品物をお売りしたり、社会奉仕をしておりますので、かなりのイメージアップにつながるのかなと思っておりました。それが中止になってしまったことが残念でした。

次年度は小澤さんの土地を少し借りられるということで、七夕にロータリーを強くアピールしたらどうかと、次の公共イメージ委員長さんをお願いをしておきます。

全体的には燃えきれないものがあつたのですが、その分、次年度にも協力してまいりますので、その点でご容赦願いたいと思います。1年間ありがとうございました。



若松増強委員長

1年間増強のご協力ありがとうございました。しかし1増2減でございまして、1名減ってしまいました。

敗軍の将は兵を語らずと言って、ここで帰りたいところなのですが、1年間全くやらなかったのかというそれいけないので、年度計画書で青年



会議所の OB の方たちというテーマを挙げましたので、ちょくちょく説得しておりました。すると皆さん口から出てくるのが、狭山市のクラブが 1 つだったらいつでも協力するということなのです。

先々週行われた理事会でもある方からご提案があったのですが、狭山クラブがなくなって、新狭山と中央だけになった時に合併の話等ができました。物事の進みには潮時というものがある、そろそろロータリーもそうしたことを考えないといけない時期にきているのではないかということ、増強にあたりながら感じました。何の仕事でもそうですが、物事を進める時には山がいくつもあるものですから、文化の違うものが重なり合うことに抵抗がある方も一杯いらっしゃると思います。しかし次年度新会長の下で、そうしたことも真剣に検討する必要があるのではないかと、増強を通じて感じました。

私としては次年度の増強委員長に今年出来なかった分を思い切りお返ししたいと常に思っております。

皆さん 1 年間本当にありがとうございました。来年も引き続き宜しく願い致します。

佐々木奉仕プロジェクト委員長

江原会長、小島幹事、本当に 1 年間ご苦勞様でした。そして色々ありがとうございました。

私は今年度から初めて役員をやらせて頂きまして、初めは何をして良いのかわからず、どちらかといえば職業奉仕委員長というイメージで 1 年間やらせて頂きました。

今年の 1 月、石坂産業さんに企業訪問をさせて頂いたことが、私にとって 1 番の仕事が出来たと思っております。その他に地区の研修会等にも出させて頂いて、少しロータリーの事がわかったかなと思っております。

まだまだほんの一部なのでしょうけれども、今後も色々な役を仰せつかるだろうと思っておりますので、益々勉強に励んでいきたいと思っております。1 年間ありがとうございました。

柴田ロータリー財団委員長

3 年間財団をさせて頂きました。数年前から、ロータリー財団をする場合には継続事業が多いということで、委員長として 3 年間という位置付けがされたようです。



3 年ほど前にロータリー財団のセミナーがあった時、ちょうど私はモンゴルに植樹事業の展開をし始めました。その時にセミナーに参加しておられた、坂戸ロータリーの地区委員の方から、マッチング・グラウンドで行ったのですが、柴田さん、これは本当に良かった、素晴らしかったと、申請時の段階だったと思いましたが褒めて頂きました。そしてその時同時に、狭山中央ロータリークラブがその 3~4 年前に行ったネパールの学校建設事業、これには私どもの義援金を拠出して、100 万円強のお金でやったわけですが、これは単独事業だったわけです。これが勿体ないと、彼は強く私に言っておりました。

その通りだと思ひまして、これからグローバル補助金や地区の補助金等々が当然これからもありますので、私は 3 年間の間に、当初 2000 ドル、また 1000 ドルになりましたが、3 年後に返ってくる仕組みになっておりますので、是非これも継続して補助金に目を通し、私どもの出した寄付金が返ってくるわけですから、これを利用しない手はないという思いで一杯でした。引き続きそうした精神の下やって頂ければ幸いです。長い間お付き合い頂きましてありがとうございました。



江原君 本日が私の会長としての最後の例会となりますが、皆様には、ご家族の方を含め多大なるご協力をいただきました。何とか一年持ちこたえられた事の最大の要因は皆様方のその優しさのお蔭だと心より感謝しております。本当に有難うございました。私は今日で会長の任を解かれますが、「狭山中央 RC は永遠に不滅です」次年度以降もご協力宜しくお願い致します。

小島君 本日、江原年度最後の例会になりました。つたない幹事役でしたが、皆様のお蔭で楽しく過ごさせていただきました。一年間有難うございました。

浜野君 一年間大変お世話になりました。会長、幹事、SAA の役員皆様大変お疲れ様でした。

稲見君 江原会長、とても素晴らしい会長でした。一年間楽しいロータリーライフが出来ました。役員の皆様には感謝です。

益子君 江原会長一年間お疲れ様でした。楽しい一年間でした。

小室君 江原会長、理事の皆様、一年間お疲れ様でした。

栗原(成)君 江原会長、ご苦労様でした。とても楽しく有意義な一年でした。

佐藤君 梅雨らしい天気、しめやかに江原年度も今日で終わりです。江原会長はじめ理事役員の方々本当にご苦労様でした。次回の例会から準備不足ですがヨチヨチ歩きで始まります。会員の皆様ご指導の程よろしくお願い致します。

清水君 江原会長ご苦労様でした。一年間有難うございました。

若松君 江原さん、一年間ご苦労様でした。役員の皆様一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

狭山中央 RC 美女軍団 江原会長はじめ役員の皆様、一年間お疲れ様でした。あっという間に一年が過ぎてしまいました。

夫人誕生祝 吉松君

※次の例会

第2副 SAA 佐々木君 柴田君

7月12日(火)

12:30~13:30

クラブ協議会

就任あいさつ